



令和2年10月13日

九州地方整備局

大分河川国道事務所

令和2年7月豪雨による再度災害防止対策に緊急的予算措置

令和2年7月豪雨により、大分川本川の水位が上昇し、大分市街地において浸水被害が発生した。浸水被害の軽減を目的として、防災・減災対策等強化石業推進費^{*}により緊急的に実施します。

今回の事業で大分川本川の河道掘削を実施することにより、洪水時の水位低下を図り、洪水を速やかに流下させることで、大分川の洪水に対する安全性の向上が期待されます。

○大分川河川改修事業

事業内容 : 河道掘削 L=3,000m 総事業費 : 475百万円

^{*}防災・減災対策等強化石業推進費は、近年、激甚な災害が頻発していることを踏まえて、国民の安全・安心の確保をより一層図るため、年度途中で緊急的かつ機動的に実施する防災・減災対策の強化を行う公共事業に配分する予算です。

【問い合わせ先】

九州地方整備局 大分河川国道事務所 技術副所長 猪原 浩二

工務第一課長 堀江 隆一

電話 : 097-544-4167

ホームページ <http://www.qsr.mlit.go.jp/oita/>

ツイッター https://twitter.com/mlit_oita

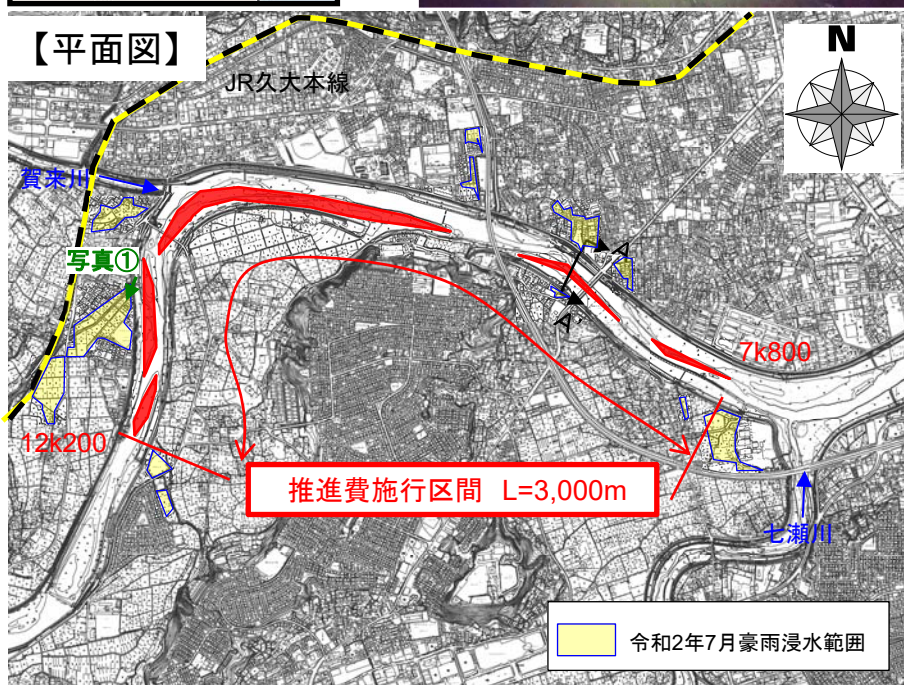
(2) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	河川改修事業(大分川水系大分川) <small>オオイト</small>
事業主体	国土交通省
施行地	大分県大分市畑中地先～ <small>オオイト ハタケナカ コクブ</small> 国分地先
事業費	475.0(百万円)
内容	令和2年7月豪雨により、大分川の水位が上昇し、家屋浸水などの被害が発生した。 今後の豪雨に対し、再度災害防止を図るため、推進費を活用して緊急的に大分川の河道掘削を実施し、地域住民の安全・安心を確保する。

令和2年7月豪雨で家屋浸水が発生した大分川で河道掘削を実施し、洪水による浸水リスクを低減



【写真①浸水状況】



【横断図A-A'】

